

〈特集1〉

ふるさと納税で魅力発信

ふるさと納税は、全国の人が応援したい地域に寄付をしたときに、そのお礼としてその地域の特産品を受け取れる制度で、教育や福祉、環境といった寄付の使い道を選ぶことができます。寄付はインターネット上のポータルサイトを通じて行われ、サイトにはさまざまな地域の特産品がネット通販のように並び、事業者にとって手軽に自社商品をPRできる場でもあります。特集では、ふるさと納税の制度に参画して、自慢の一品を全国への発信や観光誘客に取り組んでいる事例を紹介します。

●寄付申し込み状況〈平成20年6月～令和5年3月〉

件数 26,809件 金額 484,526,908円

〈内訳〉

事業	件数	申込金額(円)
教育・文化づくり	5,198	90,386,008
保健・医療・福祉づくり	3,111	72,592,000
自然環境づくり	3,532	62,694,000
都市基盤・生活環境づくり	757	13,214,000
産業づくり	1,251	25,895,000
パートナーシップづくり	124	1,836,000
市長一任	12,673	206,431,500
クラウドファンディング(2事業分)	163	11,478,400

蜂蜜好調 沼田の恵み凝縮



真心込めて販売する近藤さん(前列中央)と従業員の皆さん

(株)坂井養蜂場 ー高橋場町ー

代表取締役 近藤みゆき さん

利

根沼田で採蜜した黄金色に輝く天然の蜂蜜。糖度80度を基準とし、優しい風味と甘味が口に広がります。北海道から九州まで、ふるさと納税の返礼品として申し込みを受けています。

1947年に開業。多くの人に届けようと販路を模索していた近藤みゆきさんは、2016年、市のふるさと納税返礼品提供事業者の説明会に出席しました。制度は駆け出しの段階。仕組みにやや難しさを感じながらも、市などのサポートを受けながら準備

を進めていきました。

同年9月に商品2点を登録。最初の数年の申し込みはわずかでしたが、登録から約4年が過ぎた頃から、ふるさと納税返礼品の申し込みが増え出しました。全国的に寄付が多い12月は、同社も最も申し込みが多いといえます。

今年6月には、ギフト用で、書家の金澤翔子さんによるラベルのアカシア蜂蜜の返礼品を追加で登録。近藤さんのおぼ、故・坂井幸恵さんが金澤さんのファンだったことから、約10年前、県内の百貨



右から/金澤翔子さんの力強い筆遣いのラベル。通常販売でも人気/巣箱から巣枠を取り出す。巣に蜜蓋がされると蜂蜜が完成

店で行われた金澤さんのイベントに近藤さんが訪れ、ギフト用にラベルを依頼しました。近藤さんは「おぼの思いがラベルとなって、お客さんに届けられている」と笑顔。今では、ふるさと納税の申し込みから発送作業などの一連の流れにも慣れ、ポータルサイト更新手続きも着々とこなします。サイトに他社の蜂蜜の登録が多くあるにも関わらず、自社の製品が選ばれていることでより自信を持てるようになったそう。「利根沼田の味を全国に届け、地域のお役に立ちたいです」と期待を膨らませます。

老

神温泉旅館組合が取りまとめる宿泊券は、制度が開始して間もない頃から人気の返礼品の一つです。温泉でゆっくりしたい、利根沼田の観光に併せて温泉宿に泊まりたいといった旅行者などに利用される老神温泉においては、秋は片品渓谷に沿って広がる紅葉が素晴らしく、最も人気のあるシーズンです。

2015年から2018年頃、ふるさと納税がメディアで話題になったときには、同温泉も追い風を受け、通常よりも多くの宿泊客が訪れるよ



上から/宿泊券は12施設から選べる。露天風呂で疲れを癒やして/5月第2金・土曜日に開かれる大蛇まつりで、蛇みこしが温泉街を練り歩く/同温泉のルーツ大蛇をモチーフにした「じゃおう君」。在パッチやあみぐるみなどが人気

うになりました。各旅館でインターネットの整備を進めると同時に、市やふるさと納税

のポータルサイトでも、宿泊券が使える旅館として紹介されていることが、顧客集客につながっていました。

しかし、2019年からのコロナ禍による打撃で、宿泊客数は大きく落ち込みました。宿泊券はこれまで市の返礼品ランキングの上位を占めていましたが、この間の申し込みは、大きく減少しました。「いつまで続くのだろう。先が見えずに皆、不安な毎日を送っていました」と、金子千明さんは振り返ります。世の中の動きを見ながら、国の助成事業などを活用し、冷え込んだ観光需要をなんとか取り戻そうと、できることに丁寧に移行してか



ら、宿泊客数は少しずつ回復。県外での物産展などのイベントに参加し、積極的にPRしています。「水上には行ったことがあるけれど、老神温泉は初めて知った」という人も多く、実際に泊まりに来て「良いお湯で気持ちが良い」と、喜んでもらったこともあるそうです。井上耕一さんは「返礼品の申し込みも徐々に増え始めています。リピーターとして再訪してくれる人もいてありがたいです」と、喜びます。金子さんは「宿泊と周辺の観光を楽しめるような返礼品があれば、相乗効果で経済が潤い地域が元気になるのでは」と期待し、温泉街の活気を取り戻そうと意気込みます。

返礼品で旅館需要を喚起



老神温泉旅館組合 ー利根町老神ー

組合長 金子千明 さん(右)
事務局長 井上耕一 さん(左)

事業者のこだわりや思い 地域と一緒に盛り上げたい

事業者さんの思いが詰まった素晴らしい商品がたくさんあり、交渉や提案を重ねています。商品化になるまでの思いやこだわり、商品が生まれ出される背景を知ることによって共感が生まれ、返礼品につながれたときはうれしいものです。返礼品の魅力と込められた思いを寄付者に伝えていくために、これからも事業者さんに寄り添

い、思いをくみ取っていく必要を感じています。事業者数や寄付額は年々増えてはいますが、まだまだ伸びしろがあります。ポータルサイトを増やして事業者のサポートを強化、また返礼品にない伝統工芸品などの登録を目指し、沼田の魅力为全国へ発信し、地域活性化につなげていきます。



企画政策課 ふるさと納税担当職員